

①美術館入口<sup>1</sup>②プロムナード(遊歩道)<sup>2</sup>

秋の長雨が続く中、貴重な晴れ間となりましたので静岡県立美術館を訪れました。今年は彫刻家で有名なロダンの没後100年にあたるようで、ロダン館を併設する静岡県立美術館としては記念事業としてロダンウィーク2017(11月1～5日)や特別講演会、パフォーマンス公演等(11月17～19日)が企画されています。現在は「ロダン没後100年に寄せて」としてVol.2「フォーカス! <<地獄の門>>」が開催され、代表作「地獄の門」の秘密に迫る写真等が展示されています。

※ロダン館内はフラッシュ無しの写真撮影は可能ですが、Vol.2「フォーカス! <<地獄の門>>」の展示は写真撮影不可でした。

美術館入口(写真①)には中国浙江省との友好記念の獅子像が出迎えてくれます。プロムナード(遊歩道)の木々はまだ色づき始めたばかりですが、来月には紅葉が楽しめそうです。所々に配置された芸術作品のオブジェも目を楽しませてくれます。(写真②③)

③オブジェ(芸術作品)<sup>3</sup>④美術館前<sup>4</sup>

美術館に入り左手に進むとロダン館への通路へとつながります。受付にて観覧料300円を支払い通路を進むと、小企画展「ロダン没後100年に寄せて」Vol.2「フォーカス! <<地獄の門>>」が開催されていました。このスペースを通り抜けるといよいよロダン館入口に着きます。(写真⑤) 入口にはロダン(1840-1917)についての解説や経歴が掲示されています。(写真⑥)



⑤ロダン館入口 <sup>5</sup>



⑥ロダン解説 <sup>6</sup>

ロダン館入口を入りますと、右手には「カレーの市民」の彫刻作品が展示されています。(写真⑦) 中央正面には高さ6.2m、重さ7tの「地獄の門」がそそり立っています。ダンテの長編詩「神曲」の「地獄篇」などを参考に構想を練ったといわれ、その詩が床に刻まれています。(写真⑧) 左手奥にはロダンの代表作にして最も有名な「考える人」が展示されています。(写真⑨)



⑦右手は「カレーの市民」展示 <sup>7</sup>



⑧中央は「地獄の門」展示 <sup>8</sup>



⑨左手奥に「考える人」展示 <sup>9</sup>



⑩「カレーの市民」第一試作 <sup>10</sup>

1884年にカレー市議会は、ロダンに英雄ユスターシュ・ド・サン=ピエールの記念像を建てるよう依頼しましたが、「カレーの市民」第一試作品は百年戦争の英雄は1人だけでなく6人の集団によるものであるとのロダンの考えから作成されました。(写真⑩) 「カレーの市民」の単体作品は6体展示されていますが、ここでは3体掲載しています。(写真⑪⑫⑬) その中でも特にサン=ピエールは市の長老で、イギリス王の人質になるとき真っ先に名乗りをあげた英雄的人物と云われます。(写真⑪)



⑪「カレーの市民<sup>11</sup>」より



⑫「カレーの市民<sup>12</sup>」より



⑬「カレーの市民<sup>13</sup>」より



⑭「地獄の門<sup>14</sup>」正面

「地獄の門」(写真⑭)には200人以上もの人物像がはめ込まれており、中央上部には「考える人」も見えます。(写真⑬) フランス政府から新たに建設する装飾美術館の門を作るように依頼されたロダンは関心を寄せていたダンテの長編詩「神曲」の「地獄篇」などを参考に構想を練り、悩みや苦しみを抱えて生きる様々な人物を生々しく描く、ロダン独特の地獄を表現しています。



⑮「地獄の門」<sup>15</sup>最上部



⑯「地獄の門」<sup>16</sup>中央上部

「考える人」は「地獄の門」からの単体として作られた作品で、詩人のダンテを表現したものとも言われています。右肘を左足の上にのせることにより、右肩や背中中の筋肉がより盛り上がります。「考える」という静止したポーズでありながら、作品に動きができてきます。ここにロダンの偉大さがあります。(写真⑰⑱⑲)



⑰「考える人」<sup>17</sup>



⑱「考える人」<sup>18</sup>



⑲「考える人」<sup>19</sup>



⑳館内全景<sup>20</sup>

秋が深まる11月。木々が彩りを増すプロムナードを散策しながら、没後100年となるロダンの作品に触れてみてはいかがでしょうか。

※文中の解説は静岡県立美術館のHP掲載の解説文を参考にしています。  
※ロダン没後100年記念事業

- ・「ロダンウィーク2017」 2017年11月1日(水)～5日(日)
  - ・特別講演「ロダンとカミーユ・クローデル 二人の愛と彫刻作品」 11月17日(金)
  - ・若村麻由美の劇世界「ワルツ～カミーユ・クローデルに捧ぐ～」 11月18日(土)・19日(日)
- ※静岡県立美術館 開館時間 10:00～17:30 休館日:毎週月曜日 観覧料:一般300円  
※詳細は→<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

取材:静岡地区担当 生きがい特派員 竹内 章